

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時 平成29年5月22日(月)

9:40~11:30

場 所 松江市立持田小学校 視聴覚室・図工室

対象者 6年生42名

指導者 埋文センター 2名

学級担任 4名

1. 主 題 持田地区の遺跡を学び、埴輪作りに挑戦しよう

2. ねらい

○持田地区の遺跡について学習することで、地域の歴史に対する興味関心を高める。

○埴輪を制作する体験を通して、古代の人々の技術や生活を知る。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	準備物
9:40 【視聴覚室】 (4階)	学習の見通しをもつ	・講師を紹介する。	
9:45	持田の歴史を知ろう	・学習の内容やねらいを説明する。 ・持田地区の歴史や発掘調査についての話を聞き、地域の歴史に関心をもたせる。 ・遺物や視覚資料を活用して当時の人々の生活の様子を想像できるようにする。	書画カメラ プロジェクター 長机1 スクリーン (学校)
10:15 【図工室】 (3階)	埴輪をつくろう	・埴輪について説明をする。 ・埴輪の作り方、古代の技術について理解できるようにする。 ・指示をよく聞き、安全に注意して活動できるようにする。 ・未完成作品や粘土の余りを入れるためのビニル袋を用意する	粘土、施文 具セット、 ビニル袋 (埋文)  粘土板 へら (学校)
11:15 【図工室】 (3階)	学習のまとめをする	・質問や感想を発表したり、感謝の気持ちを伝えたりする。	

4. 準備物等

学校…書画カメラ、プロジェクター

児童…筆記用具、タオル、汚れてもよい服、(総合ファイル)

5. その他

活動後にアンケートを記入する。